

2019年10月18日

「紅」と「化粧」2つの視点から歴史と文化を紹介

「紅ミュージアム」リニューアルオープン

2019年11月2日（土）

「紅」を知り、学び、その美しさを体感できる「紅ミュージアム」

文政八年(1825)の創業より、秘伝とされた紅の製法を受け継ぎ、今も変わらず作り続ける日本に最後の一軒となった紅屋「伊勢半本店」は、東京・港区南青山にある紅の文化と技の発信拠点の「伊勢半本店 紅ミュージアム」を全面リニューアルし、館名称も変更、

2019年11月2日（土）新たに「紅ミュージアム」として開館します。

紅屋「伊勢半本店」が提供する、学びと体験のスペース「紅ミュージアム」にご期待ください。

「紅」と「化粧」、2つの視点から歴史と文化をたどる「常設展」

これまで創業から今日まで受け継いできた紅づくりの「技」や、近世までの紅花の生産・流通、江戸時代の化粧文化、紅にまつわる習俗などを、数々の資料とともにご紹介してきた常設展が、リニューアルを機に、模型や動画が追加されたことで、立体的にご覧いただけるようになり、一層分かりやすくなりました。また、紅の原料である紅花の生産や流通、紅屋の商い、紅にまつわる習俗は、近年の研究で分かってきた情報と関連資料を追加し、更に充実した内容へと進化しています。



そして、江戸時代に焦点をあてた化粧文化の紹介は、大きく幅を広げ、古代から近現代までの日本の化粧が概観できる展示へと生まれ変わりました。江戸時代の女性が実際に使っていた化粧道具は、つい先ほどまで腰掛けて使用していたように展示され、浮世絵などの絵画資料からは、赤白黒の三色で極めた化粧術が紐解かれ、当時の暮らしがいきいきと浮かび上がります。また、選りすぐられた資料をもとに、江戸時代の「紅猪口」から昭和時代の「リップスティック」までの紅の移り変わりや白粉の変化などもたどることが出来ます。



「紅」の美しさを体感できる「コミュニケーションルーム」

ミュージアムに入るとすぐにあるコミュニケーションルームでは、様々な角度から紅を体験していただけます。新たに設置されたサイエンスエリア「ナレッジ ラボ」では、紅と紅花を科学的視点で紹介。ミニ実験（要予約・有料）も用意しています。展示観覧後には、大人から子どもまで一緒に楽しめるクイズがあり、更に紅の知識が深まります。

紅屋だからこそこの体験である「紅点し（紅のお試しづけ）」は、今まで通り、どなたでも無料でお楽しみいただけます。



「紅ミュージアム」リニューアルのポイント

◆ 館名、ロゴを刷新！

館名を「伊勢半本店 紅ミュージアム」から、覚えやすく親しみを持っていただけるよう

「紅ミュージアム」へ改称します。

これに伴い、ロゴも一新しました。



◆ 展示と体験が、更に充実！

今まで展示できなかった資料も多数追加され、更に詳しく知りたい方のためのデジタルアーカイブも順次公開して参ります。



常設展示室1；紅を知る

紅花の花びらから赤色色素を抽出して作られる「紅」。古来、染料や化粧料などに使われてきた紅は、江戸時代に産業としての隆盛を迎えます。ここでは、紅づくりの様子や、紅花の生産、流通をはじめ、紅屋の商い（広告宣伝・販売活動）、紅にまつわる習俗などを、紅屋の店頭風景を再現した模型や紅が出来るまでの動画、一層充実した関連資料とあわせてご覧いただけます。



常設展示室2；化粧の歩み

江戸時代を中心に、古代から近現代までの日本の粧いや化粧の歴史を概観いただけます。江戸の女性が実際に使っていた化粧道具や浮世絵などに描かれた化粧シーンから、赤（口紅や頬紅など）、白（白粉）、黒（眉墨やお歯黒）の三色で極めた化粧術を紹介。また、幕末から昭和30年代頃までの移り変わりを、口紅と頬紅を中心とした200点以上の当時の化粧品と看板などからたどります。



コミュニケーションルーム；見て、触れて、体感する

伝統の製法で作られた「小町紅」の紅点し体験ができるほか、新たに設置されるサイエンスエリア「ナレッジ ラボ」では、科学的アプローチで「紅」の不思議に迫ります。大人も子供も楽しめる紅にまつわるクイズも出題。紅花の色素を取り出すミニ実験（要予約・有料）も楽しめます。小町紅をご購入いただけるミュージアムショップもこちらです。



株式会社 伊勢半本店



紅ミュージアム外観

【施設概要】

館名	紅ミュージアム
所在地	東京都港区南青山6-6-20 K's 南青山ビル1階
電話	03-5467-3735
交通案内	■地下鉄■ 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅下車 ・B1 出口より徒歩 12 分 ・B3 出口(エスカレーター・エレベーターあり)より徒歩 13 分 ■バス■ ＜渋谷駅東口バスターミナル＞ 51 番乗り場：都 01 (新橋行)、RH01 (六本木ヒルズ行) 渋谷から 2 つ目の停留所「南青山七丁目」(六本木通り沿い)で下車。 高樹町信号の横断歩道を渡り、左手に 50m ほど進む 59 番乗り場：渋 88 (新橋行) 渋谷から 5 つ目の「南青山七丁目」(骨董通り沿い)下車すぐ。 ※駐車場はございませんので、車でお越しの際は近隣コインパーキングをご利用ください。
開館時間	10:00～18:00(入館は 17:30 まで)
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は、翌日休館)、年末年始
入館料	無料 ※ただし、企画展は展示により有料。
その他	車いす対応トイレ有り、授乳・オムツ替えスペース有り
WEB サイト	http://www.isehanhonten.co.jp/museum/ (2019 年 11 月 1 日より) https://www.isehanhonten.co.jp/museum/



EDO
TOKYO
KIRARI

東京都が進める「江戸東京きらりプロジェクト」は、江戸東京の伝統ある技や老舗の産品等を新たな視点で磨きをかけ、その価値と魅力を国内外に発信することで、東京ブランドの確立やものづくりの本場・東京の再興、伝統ある産業の魅力向上、技の継承を目指す取組です。伊勢半本店は、2018年度モデル事業者に選定されました。 <https://edotokyokirari.jp/>

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

(株)伊勢半本店 PR 担当 阿部 TEL 03-5774-0294 FAX 03-3406-0795

大島 PR(株) 大島 TEL 03-3545-1185 FAX 03-3545-1186

お客様お問い合わせ先 紅ミュージアム (11月1日までは伊勢半本店 紅ミュージアム)

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル1F TEL 03-5467-3735



株式会社 伊勢半本店